

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 香南市立夜須中学校		校長	永野 富美子	教員数	19	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		特別支援1		合計		
		道徳教育推進教師	長谷川 智子	19	児童生徒数		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
研究テーマ		道徳科の趣旨を踏まえた指導方法の工夫・改善と評価の在り方に関する実践研究により、生徒一人一人の道徳性の向上を目指した道徳教育の推進															
年度当初の学校の状況(5月調査を記載)		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)				年度末(2月)		到達目標達成状況					
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上				現状		肯定%							
①道徳の勉強は、すきだ		59.6%		①「道徳の勉強は、好きだ」 10ポイント以上向上				①									
②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている		73.1%		②「自分の生き方についてよく考えている」 3ポイント以上向上				②									
③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている		26.9%		③「高知の道徳」の活用 5ポイント以上向上				③									
④自分には、よいところがあると思う		69.2%		④「自分には、良いところがあると思う」 3ポイント以上向上				④									
⑤将来の夢や目標をもっている		78.8%		⑤「将来の夢や目標をもっている」 3ポイント以上向上				⑤									
⑥人が困っているときは、進んで助けている		90.6%		⑥「人が困っているときは、進んで助けている」 2ポイント以上向上				⑥									
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある		71.7%		⑦「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」 3ポイント以上向上				⑦									
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)				指標達成状況の分析											
取組項目	取組の評価指標	5月～8月				中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)				達成状況	年度末評価					
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	◆校内推進委員会をもって、進捗管理を行う。(毎月1回以上) ◆各学年の別業、年間指導計画に基づく取組の検証(3回以上) ◆道徳推進教師が、毎週、全学級の道徳科の授業への指導・計画・評価への全般的な関わりを持つ。	①道徳教育の全体計画(各学年の別業)、道徳科の年間指導計画(各学年)の作成(6月上旬に提出) ②推進教師が全道徳科の授業の参観、及び、担当学年の授業(ローテーション)の実施 ③授業者と道徳推進教師が、事前研→授業実施→事後研のサイクルにおいて、短時間で打ち合わせをする時間の確保 ④生徒意識調査の結果の協議・取組策の検討(校内推進委員会) ⑤道徳教育指導者養成研修への参加(8月 1名)					①全体計画(各学年の別業)、年間指導計画の実質化・道徳科の年間指導計画の評価欄への記入(随時) ・道徳の内容と各教科等との関連について検証 ②道徳推進教師による全道徳科の授業参観、指導・評価、及び、担当学年の授業(ローテーション)の実施 ③授業者と推進教師による事前研→授業実施→事後研のサイクルの定着と授業の質の向上 ④意識調査の検証を踏まえた改善策の検討(校内推進委員会) ⑤道徳教育指導者養成研修、小・中学校道徳教育研究協議会等の報告を行い、効果的な取組を共有										
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	◆道徳授業力チェック【教師用】【児童生徒用】を3以上にする。 ◆公開授業研においては、案内をして、授業についての意見をもらう。(4回以上)	①授業研究1回(公開授業研6月) ②道徳授業チェックシート(授業者、生徒)の結果及び個人内評価に係る協議・授業改善策の検討 ③学習指導案、教具、板書写真、ワークシート、事後研等の整理・保管 ④小中授業参観週間を活用した授業研修(1回 7名)					①授業研3回(公開授業研10月・11月・1月で講師招聘、香南市教育研究会10月、香南市道徳推進協議会1月の公開授業を含む) ②道徳授業チェックシートの結果及び個人内評価の協議・検討 ③学習指導案、教具、板書写真、ワークシート、事後研の記録等の整理・保管 ④小中授業参観週間を活用した授業研修(2回 14名)										
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	◆評価の仕方を共有する。(年間3回以上) ◆学期末の個人面談で、学習状況や道徳性に係る成長の様子を保護者に伝える。	①道徳ノート等を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→学年会で評価について検討 ②評価の仕方を校内で共有→学期末の個人懇談で保護者に伝える。					①道徳ノートを活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→学年会で評価について検討 ②評価の仕方を校内で共有→学期末の個人懇談で保護者に伝える。										
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	◆全学級公開による道徳参観日を実施(1回)し、保護者参加率を25%以上にする。 ◆学校だよりや道徳だよりで取組・成果、道徳教育ハンドブックの内容について発信する。(毎月1回以上)	①学級公開による道徳参観日の実施(1回目:6月) ・保護者アンケートの実施・集計・分析 ②毎月のたよりに、授業の様子やハンドブック「高知の道徳」の内容を紹介・啓発					①保護者や地域の方も生徒と一緒に学習できる参加型の道徳参観日の実施(2回目:11月) ・保護者アンケートの実施・集計・分析、集計、取組成果の発信 ②毎月のたよりに授業の様子やハンドブックの内容を紹介・啓発 ・生徒の道徳性に係る成長の様子や懇談会等の内容										

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)